

市民ネットワーク

山田京子の議会報告



千葉市議会第2回定例会 平成23年6月9日～24日

震災対策一色に染まった統一地方選挙後初めての定例会

6月の定例会では、東日本大震災を受けて、被災者支援を中心とした約96億円の補正予算、新基本計画（※1）、国民健康保険の繰り上げ充用（※2）等が承認されました。また、一般質問では28人中21人が震災関連を取り上げ、まさに震災一色の議会となりました。

- ※1 今後10年間の方向性を決める市と区の計画。初めて議会の議決を経ての承認となった。
- ※2 翌年度の収入を先食いして帳尻を合わせる手法。

どうして選挙に行かないの？

4月10日に行われた千葉市・県議会議員選挙では、大震災の影響が、前回より5.03%も投票率が落ち、4.3%となりました。

震災の影響を抜きにしたとしても、約4割の人の意向で千葉市全体が動いていると考えると放つてはおけない問題です。日常生活が政治と結びついていくことが、市民に浸透していない現状です。

選挙に行く人を増やすには、投票しやすい環境を整備し、選挙がなぜ大切かをこどもの頃から認識させることが必要で、それを役割としているのが、選挙管理委員会ではないでしょうか。

特に、小中学校の教科書を見ると、選挙の学習が単に、仕組みや手法の範

囲にとどまっております。どうして選挙が大切なかがよくわかりません。ですから、たとえば横浜市でやっているような「せんきょフォーラム」(注)のように、子どもたち自身が、「大人になったら絶対選挙に行こう」と思うような働きかけが必要なのです。

一方大人に対しても、普段から政治に興味を持てるよう、公民館がリードして市政や議会についての講座を積極的に開くよう、教育委員会に求めました。

(注) 選挙啓発活動として、各区の選挙管理委員会と明るい選挙推進協議会が行う、参加型の学習事業。主に小中高校生を対象とし、若い世代から選挙の大切さを考える。

急げ！災害時の支援体制づくり

東日本大震災を受け、障がい者や高齢者の方々が被災した場合の支援体制づくりが急がれます。今回、知的障がい者のご家族からも早期の取り組み開始を求める声があり、市の要援護者支援体制の進捗について質問に取り上げました。

●地域での支援体制は・・・
一部の自治会や自主防災組織では、昨年からの「支えあいカード作り」がモデル的(各区2か所ほど)に進め

られています。災害時に支援を必要とする人にあらかじめ申し出てもらい、情報を載せたカードをつくらせていくのですが、個人情報取り扱いなど課題も多く、予定通り進んでいません。

●福祉避難所は・・・
市の災害時要援護者支援計画で

は、障がい者や認知症のある方など通常の避難所生活が難しい方は、要援護者支援窓口を通して「福祉避難所」(教室・保健室など)や、「拠点福祉避難所」(福祉施設、保健福祉センターなど)に移動することになっています。千葉市は昨年度中に福祉避難所の指定を行う予定でしたが、まったく進みませんでした。要援護者支援窓口が速やかに設置できるための準備も要りますし、福祉避難所指定には対象者・施設の把握、運営体制の整備などたくさん課題があります。工程表を作って目標を定め、今年こそ確実に指定が進むよう強く求めました。

富田町の芝桜、市民の参画で来年はもっと楽しい企画に！



富田町の都市農業交流センターでは、今年の4月中旬から5月初めにかけて芝桜が咲き、見事なピンクの絨毯となりました。1万7千人以上が訪れたとのことですが、地元農産物の直売も2日間だけでした。来年からは、もっと期間や企画も広げたり、福祉ショップの出

店も考えてみてはと提案しました。また、市民が企画の段階から参画してこそ、都市住民と農村部の交流の目的につながるものです。富田、中田、下田の3つの交流センターの連携の中でも市民との協働を考えてほしいと思います。

千葉市の放射線物質への取り組み

千葉市は、大気中の放射線量について、市内3か所でのモニタリングポストとしての測定が行われており、それで充分、との認識でした。しかし、いざいざも稲毛区内。千葉市全体はどうなの？という問い合わせが多く、市内18か所で独自の調査を行いました。結果は基準値以下でしたが、今後も継続的に測定していくとのことです。

ただ、市の測定は家庭や保育所庭の中央1か所のみ。落葉やほこり、雨水のたまりやすいところなど局所的に放射線量が高いとの指摘もあり、市民ネットでは、「心配」と連絡をいただいた保護者の方にも声をかけ、家庭や公園の空間放射線量率の独自測定を行っています。計測結果は概ね市の結果と同様ですが、まだまだデータも不足しています。今後も計測を続け、状況を把握し必要な対策を市に求めていきたいと考えています。

保護者の方が心配されている給食では、問い合わせがあれば産地公表など対応すること、プールの水の入替えは、例年よりも頻繁に、ことに雨降りのあとは丁寧に行うことなども求めました。

(市民ネットワーク市議 湯浅美和子)